

とんぐり



パークセンターだより 第87号 2007年10月・11月号

小鳥の生きる知恵「こんぐん混群」 自然解説員 直井ひろ宏

初夏 めぶ 芽吹きの頃、多くの鳥達が集る高原のはんしよくち繁殖地。

盛夏 山地を巡りながら見る鳥達。

秋 しゅうかく 収穫の済んだ広大な農耕地の鳥達。

バードウォッチングは季節の移ろいで、見る鳥や場所が変わることもあり面白いです。この先ばんしゅう晩秋から冬にかけては、北国で繁殖を終えて戻って来た冬鳥も加わり、一年で一番多くの野鳥を見る事が出来る季節です。身近な公園や里山をのんびりと散策さんさくしますと沢山の鳥達と出会う事が出来ると思います。



シジュウカラ

この時期「21世紀の森と広場」を始めきんりん近隣の公園や千葉県北西部の里山を歩いていて出会うのが、シジュウカラを中心にエナガ、メジロ、ヤマガラ、コゲラ等の種類の違う鳥達で作られた群です。この群を「混群」と呼びます。この地域ではごく稀まれに、この群にクイタダキとヒガラが加わる時があります。クイタダキは「つがい」性が、メジロ、ヤマガラと共に強い鳥です。今では松戸市で稀にしか見られないクイタダキですが、1965年頃（昭和40年）までは冬の時期に松戸で多数見られ「マツメ鳥」と松戸地域では呼ばれていました。以後は松林の急激きゅうげきな減少（マツクイムシの被害、開発）により、会える機会の少ない鳥になってしまいました。

関東平野の縁ふちに位置する神奈川県おおやまの「大山」や東京都たかおさんの「高尾山」、みたけさん「御岳山」などでは気温の下る冬期に、コガラ、ヒガラ、コジュカラ、クイタダキ、キバシリ等もシジュウカラを中心にした群に加わる事があります。

芽吹き頃の繁殖期には、成熟した雄、雌の「つがい」と繁殖能力の無い若鳥の群に別れます。これは群でいると卵や雛は敵に発見され易いため、離れた場所で隠れて営巣した方が安全だからです。

繁殖期に無事巣立った雛は、他の家族や若鶏達と合流して同一種の群を作り、後に他種との混群の形成に加わる事もあります。

それでは何故種類の違う鳥達が群を作るのでしょうか…。

群を作れば多くの眼を持つようになり、先に敵を発見して逃げる事が出来る。
(捕食される率を下げる事が出来る)

群でいれば当然敵にも発見され易くなりますが、その時は共同で敵に立ち向い追い払う事も出来る。

「つがい」か小さな群でいる時よりも警戒する負担が減って、餌を採る時間が増え、採る効率がよくなる。

シジュウカラ科の鳥を中心に混群を形成している鳥達の体温は 39 位と高く、羽毛の持つ防水、保温機能だけでは高めの体温を維持する事は難しく一定の体温「恒温」を保つ為には採餌効率を上げなくてはならないので、その為の知恵が「混群」なのです。

混群を形成してる鳥達の餌を採る為の森林空間は以下の様に分けられます

林床部：シジュウカラ、ヤマガラ

中層：コガラ、メジロ、コゲラ、ヤマガラ

樹冠・枝の先端：キクイタダキ、メジロ、ヒガラ

混群を形成しているメジロ、ヤマガラ、コゲラは独立性が強く非繁殖期でも同一種の群で行動している個体も多く見られます。採餌の森林空間の活用の例外として、混群を離れたメジロ、シジュウカラは林に接した休耕田のヨシ原の中に入り採餌する個体を見る事が増えて来ています。



メジロ

超かんたん・安全な野菜作りにチャレンジしてみましょ！

みどりの相談員
丸尾三恵子

近ごろ野菜売り場は、珍しい野菜でにぎやかです。産地も、「中国」を筆頭に、「アメリカ」、「韓国」、「オランダ」、「ニュージーランド」、「メキシコ」など、国際色も豊かです。

また、水耕栽培の野菜、すぐ使えるカット野菜から、「減農薬」や「有機栽培」、「生産者の顔」付きの野菜など、セールスポイントも様々な切り口で提案されています。種類についても、伝統野菜、珍しい野菜、新野菜、ハーブなど、本当に豊富です。



植物工場風景

ところで、「植物工場」はご存じでしょうか？

松戸市内に登場した新しいタイプの野菜のお店は、奥に栽培中の植物工場が見える点がユニークです(写真)。土を使わず、人口照明で、温度や肥料までコンピューター制御された植物工場生産した超新鮮な野菜を店頭で販売しており、まるでパン屋さんようです。

南極越冬隊にも採用され、昭和基地でも新鮮な野菜を作ることが決まっているそうです。そして、この植物工場で作られる野菜は、すべて無農薬で、洗わずに食べることができます。下手に洗わない方が清潔なのです。

とにかく今年は、中国産の食品の安全性が問題になり、「食の安全」が、特に重要視されました。

食べる側、買う側の視点は、きれいな野菜、安価な野菜でなく、「安全な野菜」に、一層、目を向けられるようになりました。

そこで「食の安全」を考える初めの一歩。

安全な野菜を、手軽に作って食べてみる提案。

自分で野菜を作りたいけれど、時間がない人、億劫な人、面倒なことが苦手な人にもおすすめ。だれにでもできる超かんたんな野菜の再生栽培 - プチ家庭菜園 - です。

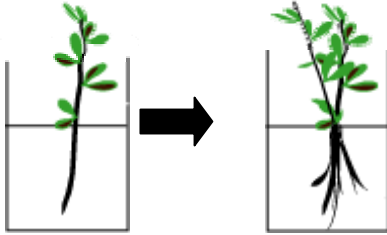
野菜売り場で売られている野菜には、ちょっと茎を水に挿しておくだけで、根が出てきたりするものがあります。

ネギなど根付きのものは、少し地際の部分を残して切り、それを捨てずに植える

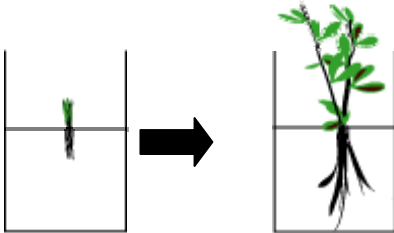
と、根や新葉が出てきて、手軽なキッチンガーデンが楽しめます。

- ・ 茎を水や土に挿すだけで、簡単に根が出てくる野菜（肥料を与えれば新葉も出てきます）

バジル、ミント、クレソン、クウシンサイ、ツルムラサキなど多数



- ・ 地際部の残りを植えると、発根し、地上部が再生してくるもの
ネギ、ワケギ、ミツバ、



みどりの相談室

パークセンター「みどりの相談室」では、相談員の先生が園芸に関するさまざまな質問に無料でお答えします。電話でもお受けしていますのでお気軽にご相談下さい。

- 【相談日】 水・土・日曜日と祝日
【時間】 午前10時～12時・午後1時～3時30分
【電話】 047-345-8738 ハナミツバチ



「根っこの話」

自然解説員
川端祥子

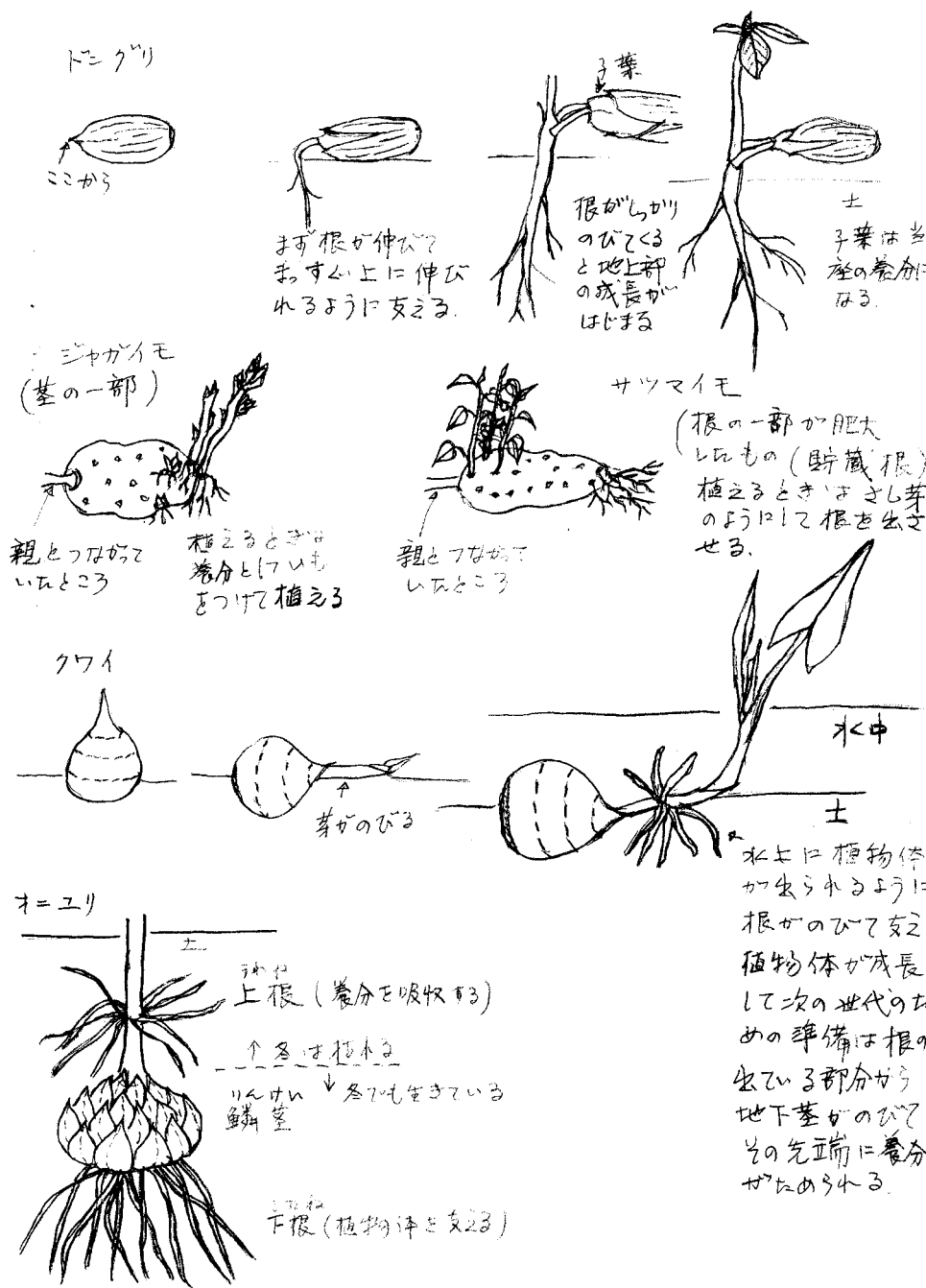
「根っこってどんな働きをしているのかな」って考えたことはありますか。じゃあ「根はどこ？」って聞かれたらどう答えますか？ほとんどの人が、植物の土の中の部分と考えていませんか？身近にある抜いてもよい草（雑草と呼ばれているもの）をそっと抜いてみましょう。あるものは太く伸びた部分を中心に細く枝分かれをしながら四方に広がって伸びているもの、他のものでは、地面の表面近くから細くてほとんど枝分かれをしないヒモ状のものが多数伸びているもの、また細かいものの中から少し太いヒモ状のものが地面すれすれに四方にのび、ところどころに節ができてそこから根のようなものがでているものなど植物の種類によって様々な形が見られるでしょう。先のを「直根」、あとのものを「ヒゲ根」と呼んでいます。三つめのはヒモ状の部分が茎の一種で「地下茎」といわれているものです。ほとんどのものが土の中で見られるものですが、どのような形の根でもその働きはほとんどかわりません。

「根っこ」の仕事のひとつは、その植物のからだを支えるということ。もうひとつは、土の中や水の中、あるいは空気中でその植物にとって必要なものをそのからだの中に取り入れるという大事な働きをしています。だから、直根やヒゲ根だけでなく、その植物が育っている場所や欲しがっている仕事によって根の形も変わってきます。空気がもっともっと欲しい植物は幹や根から空気を吸うための根を伸ばします。イチヨウや湿地や水際が好きなラクウショウなどで見られる「気根」です。また、トウモロコシのように土の中の根のほか、自分のからだを支えるために地上に出ている節から四方に根を伸ばしてしっかりと支えているものもいます。このような根を「支柱根」（支根ともいう）といいます。暖かな浅い海岸にマングローブと呼ばれている林をつくる主はヒルギの仲間ですが、波に流されないように親の木とつながっている実の時期から発芽し支柱根を伸ばしているものもいます。ヒルギの仲間は支柱根がよく発達しています。暖かい地方でたまに見かける、根が板状に発達してしっかりとそのからだを支えているものもいます。このような根を板根といいます。

このように植物にとって自分のからだを支えるということは、ほかの植物と競争して生き残るためには、とても大切なことなのです。

このほか寄生根という特殊な根を持つものもいます。ナンバンギセルやヤドリギ、ネナシカズラなど寄生植物といわれている植物がそうですが、これらはほかの植物の組織（根や茎など）の中に自分の根を伸ばし、その養分を横取りして成

長しているのです。では、水草やハス、タケやクズのような植物はどのような根を持っているのでしょうか。これらの植物は茎を横にはわせ、その節々からヒゲ根をだすことでからだを支え、同時にその節から新しい芽をだすことでその勢力範囲を広げる戦略にでたのです。水草は「流れ藻」になって新しい土地で根をだすことにしたようです。つぎにちょっとおもしろい出方をするものを図にしておきました。地下の部分（目に見えにくい部分）にも観察の目をむけてみましょう。





パークセンター 10月・11月の催し物



講 座	日 時	対象・人数	講 師	費 用	受 付
展示 「農とふれあう作品展」	平成 19 年 10 月 2 日（火） ～ 8 日（祝）		J A まつど女性部		
自然観察会 「クチバシの形と食べもの の関係～何をどうやって食 べる？～」	平成 19 年 10 月 8 日（祝） 13:30～15:00	どなたでも 45 名	自然解説員 黒江美紗子氏	無料	9/15～
昆虫ウォッチング （雨天中止）	平成 19 年 10 月 14 日（日） 10:00～11:30	当日先着 25 名	自然解説員 吉岡明良氏	無料	当日
園芸教室 「秋の花だん作業（実習 有）」	平成 19 年 10 月 14 日（日） 13:30～15:00	どなたでも 20 名	みどりの相談員 青島尚祐氏	無料	受付 終了
野草ウォッチング （雨天中止）	平成 19 年 10 月 20 日（土） 10:00～11:30	当日先着 25 名	自然解説員 川端祥子氏	無料	当日
みどりの講習会 「秋の盆栽について」	平成 19 年 10 月 21 日（日） 13:30～15:00	どなたでも 30 名	日本盆栽協会公認 講師（松戸支部 長） 真嶋誠一氏	無料	10/1～
みどりの教室 「樹木の健康診断 ～樹木からのメッセージ」	平成 19 年 10 月 27 日（土） 13:30～15:30	どなたでも 25 名	樹木医 真嶋好博氏	無料	10/1～
園芸教室 「おしゃれなコケ玉づく り」	平成 19 年 10 月 28 日（日） 13:30～15:00	どなたでも 20 名	みどりの相談員 丸尾三恵子氏	1,000 円	10/1～
みどりの教室 「絵手紙で季節の花を描こ う」	平成 19 年 10 月 30 日（火） 10:00～12:00	どなたでも 30 名	絵手紙わの会 萩原典子氏	200 円	10/1～
展示 「野・雑・葉草の花の写真 展」	平成 19 年 11 月 6 日（火） ～ 11 日（日）		野草の会「響」		
野草ウォッチング （雨天中止）	平成 19 年 11 月 17 日（土） 10:00～11:30	当日先着 25 名	自然解説員 加藤裕一氏	無料	当日
みどりの講習会 「冬の寄せ植え」	平成 19 年 11 月 17 日（土） 13:30～15:30	どなたでも 20 名	千葉県流山高等学 校 横山和穂氏	1,000 円	11/1～
バードウォッチング （雨天中止）	平成 19 年 11 月 25 日（日） 10:00～11:30	当日先着 25 名	自然解説員 今村裕之氏	無料	当日
園芸教室 「そば打ち体験」 9 月に受講された方は申 し込み出来ません。	平成 19 年 11 月 25 日（日） 13:30～15:30	どなたでも 20 名	みどりの相談員 野口宣二氏	1,000 円	11/1～

注) 予定に変更が生じる場合がございますので、
詳細はパークセンターまでお問い合わせ下さい。



しぜんかんさつしゃ
自然観察舎のご案内



自然観察舎は、建物の中にある観察室から自然生態園せいいたいえんの自然や千駄堀池などに集る野鳥を観察することが出来る施設となっております。観察室には望遠鏡ぼうえんきょうや観察ガイドブックが備え付けられていますので、どなたでも簡単に自然観察が出来るようになっています。



土・日・祝日には、自然解説員が勤務しておりますので、野草、野鳥、昆虫などに関する質問がありましたらお気軽に「相談コーナー」にお越し下さい。また、自然解説員と一緒に自然生態園内の木道を歩きながら観察する「湿地の観察会」も行なっています。（費用は無料です）公園にお越しの際は、ぜひ自然観察舎にお立ち寄り下さい。



自然解説員は、野草・野鳥・昆虫・生き物それぞれで担当が分かれていますので、内容によってはお答え出来ない場合があります。

しっち
湿地の観察会実施時間・実施日

実施時間	日曜日・祝日	土曜	平日
10:30～10:50			
11:30～11:50			
13:30～13:50			
14:30～14:50			
15:30～15:50			

月曜日は休館日のため観察会は実施しません。

平日は自然解説員の同行はありません。

11月1日から、実施時間の15:30の回が15:20～15:40に変更になります。

【定員】 先着25名（当日受付）

【受付】 自然観察舎 窓口

【電話】 047-340-4140

- ・ゴミは家までお持ち帰り下さい。
- ・なるべく公共の交通機関をご利用下さい。

発行日：2007年10月1日
 発行：21世紀の森と広場パークセンター
 開館：9:00～16:30
 11月1日～2月末までは
 9:00～16:00
 〔月曜休館（祝日開館／翌日休館）〕
 〒270-2252 松戸市千駄堀269
 TEL 047-345-8900
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/>

